

就労支援事業所における在宅支援

外出や通所が困難な障がいがある方で在宅支援を希望される場合は、在宅支援を行う旨を運営規程に明記している事業所であれば、対応が可能です。対応する事業所は、在宅支援により効果が認められると判断できる在宅利用者が取り組める作業活動などのメニューを常に確保していること、作業中などに発生した疑問などに対し連絡や訪問を通して適宜対応すること、1日2回は連絡や進捗確認などを行い支援内容を記録すること、1週間に1回は、在宅利用者の作業に関する評価などを行うことが必要です。在宅支援を希望する利用者は、管轄行政に在宅支援の申立書を提出する必要があります。

冬のあっただかメニュー

明けましておめでとうございます。新しい1年がスタートしましたね。寒い冬を乗り切るために、つるみの郷では鱈のトマト煮込みを食べました。高たんぱく低カロリーの鱈に加えて、トマトや玉ねぎ、にんじんなどの野菜もたっぷり入れた栄養価満点あったかメニューです！
身体を冷やす夏野菜のイメージが強いトマトですが、加熱して調理をすることで、抗酸化作用のあるリコピンの吸収率が、生食の3倍とされています。高血圧予防、血液の浄化、免疫の強化などが期待されているトマトを、冬でもしっかり食べて、健康な体を目指しましょう！



編集後記

明けましておめでとうございます。皆さんはお正月をどうお過ごしでしょうか？
お正月のテレビは特番も多いですが、スポーツ番組もたくさんあります。皆さんは何を見ますか？私は自分がラグビーをしていたこともあり、ラグビーを見ることが多く、お勧めです！ラグビーは体と体をぶつけ合う激しいスポーツですが、「ノーサイド」という素晴らしい言葉があります。試合が終われば敵味方関係なく称え合うといった意味で、相手への敬意も忘れないのです。また、試合後に「アフターマッチファンクション」というものがあり、選手同士で食事しながらする交流会があるみたいです。激しくぶつかっていた相手と一緒に飲食をし、会話し、交流を深める。紳士と言われるスポーツならではの習慣ではないでしょうか。見たことのない人は是非、一度観戦してみてください。ルールは少し複雑ですが…。

(T・N)

つばき



第85号 発行日：2023年1月1日
発行者：社会福祉法人 椿福社会

〒538-0031

大阪市鶴見区茨田大宮2丁目2番25号

TEL 06-6911-1002 FAX 06-6911-1006

WEB <http://tsubaki-fukushikai.com/>

新年あけましておめでとうございます

新年明けましておめでとうございます。旧年中は、多大なるご尽力をいただき、誠にありがとうございます。2022年も社会全体がコロナウイルスの影響を大きく受けた1年となりました。未だに終わりが見えないコロナウイルス感染症は、今後の社会保障において様々な影響を引き起こすと考えられます。例えば、世界と比較して優れた仕組みを持つと考えられていた日本の医療体制をどう再編成するのかという問題があります。先進国でも医療崩壊が起きていますが、患者数が他国と比較して少ない段階でキャパシティがなくなることによってどう対応していくのか、一部の医療機関スタッフが過重労働になる仕組みの改善をどのようにするのか、保健所の機能と能力をどのように適正化していくかなど様々な課題が見受けられます。また、事前に感染症に対するBCP(事業継続計画)を作成していた高齢や障がいなどの福祉施設は少なかったと思われます。今回の事を教訓に法人としてしっかりとした備えを持つことがとても重要になります。

感染症の流行は、マイナス面ばかりではありません。例えばウェブ会議を始めとする様々なテクノロジーが一気に普及しました。今後、その傾向は一段と加速していくと思われます。一般の企業と比較して我々福祉業界は、まだまだICT化を進められていない状況ですが、今後はそういった分野にも注力していきたいと思えます。

さて、去年は、椿福社会にとっては、大変大きな節目の年になりました。その主なものを紹介します。

1. 法人設立30周年を迎えられた
2. つるみ更生指導所の新築移転に向けて始動した
3. 椿福社会ホームページのリニューアルの計画開始

以上、どれも法人にとっては、大きな変化です。

現在は、情報通信化社会の中で地域に開かれ、情報を発信していくことが求められています。椿福社会が地域になくてはならない法人であると自他ともに認められるよう情報を発信していきたいと思えます。

今後、社会福祉法人は、大きな改革が迫られてきます。椿福社会も充実した体制を整え、より質の高い施設を目指し、職員には資格取得にチャレンジしてもらい、法人が力を合わせて難局を乗り越えて前進していく年にしていきたいと思えます。皆様にとって、良い年になることをお祈りして、年頭のあいさつといたします。

2023年1月

社会福祉法人 椿福社会

理事長 高部真実



ピクニック行事

10月7日にピクニック行事で、国崎クリーンセンターとカップヌードルミュージアムへ行ってきました。

晴れていれば、馬見丘陵公園で季節の草花を見ながら散策をする計画で、ピクニック行事の名前に相応しい内容となる予定でしたが、雨の天気となり、見学や体験が中心のピクニック行事になりましたが、国崎クリーンセンターでの見学では、ごみを運ぶクレーンの迫力に釘付けとなり、カップヌードルミュージアムでは、自分だけのオリジナルカップヌードル作りを楽しみました。

カップヌードル作りでは、白い容器に好きな絵を書き、複数の具材から4つの具材を選び、圧をかけて蓋をしてもらい完成です。蓋はいつもの柄ですが、オリジナルの容器のカップヌードルを持ち帰り専用の透明のビニールに入れて、嬉しそうに持ち帰りました。しばらく部屋に飾って嬉しそうに眺められた方、すぐに食べられた方など様々でしたが、雨なりの楽しみ方ができた1日でした。

(つるみ更生指導所)



文化祭

11月23日(水)にワークセンターでは文化祭を開催しました！

午前はおやつ作り。生活介護はさつまいもスティック、就労はパンケーキを作りました。初めは失敗することもありましたが、だんだんと慣れていき、上手に作れて大満足♡

午後からは館内に飾った作品をグループに分かれて見ながら、作品の中に隠された文字探しにも取り組みました。文字を見つけると「あったー！」とあちこちから嬉しそうな声！みつけた文字は「め・い・た・ん・て・い」(^_^) 意外と皆さん必死になっていましたね。作品展観後は、生活介護利用者さん全員で歌の発表。「世界がひとつになるまで」を手話も取り入れながら上手に唄っていました。就労はものまね、漫才の発表です！！毎日練習をして、時には自信をなくして泣いたりもしていましたが、ものまねも漫才も大好評で、発表者もホッとした様子でした。

久しぶりの文化祭で、終始みなさん楽しそうにされていて良かったです！

(ワークセンターつるみの郷)



誕生日会



11月27日(日)に11月の誕生日会を開催しました。つるみの郷では、毎月の月末に誕生日会を開催しています。

当日に食べるケーキを事前にカタログでみなさんに選んで貰っているのですが、チョコレート系のケーキに目がない方や、毎回どれにしようかととても悩まれる方もいて毎月楽しみにされています。

午後から誕生日会を開催するのですが、テンションが上がり待ち遠しい利用者さんは、「ケーキ届いた？」「ジュースもあるの？」等ワクワクした様子でした。

誕生日会が始まると誕生日の歌を流してみんなで唄い、手拍子もして、誕生日の利用者さんをお祝いしました。みんなから「おめでとう」の拍手でお祝いされ、利用者さんも素敵な笑顔を浮かべていました。今回食べたケーキも大満足だったようで、美味しそうに完食していました。

12月にはクリスマス会・1月はお正月とまだまだ季節を感じられる楽しいイベントが残っています。

コロナ対策を万全にしつつ、利用者さんの笑顔が見られるイベントを職員一同楽しみにしています。

(つるみの郷)



楽しかったよ!! ～外食行事～

グループホームでは、3グループに分かれてスシローに行きました。初回は、リベルタとラポールの利用者さんです。数日前から職員にメニューを印刷してもらい「高いのばかり食べる。これが食べたい。デザートもいいの？」等、当日が待ち遠しい様子でした。始めは職員がタブレットで注文していましたが、慣れてくると自分でタブレットを使って注文する利用者さんもいました。レーン側に座っている利用者さんは、レーンを流れているお寿司の中から選んで食べていました。次は安田の利用者さんです。久しぶりの外食行事だったこともあり、たくさん注文してしまい「お腹いっぱい。もう食べれない」と話している利用者さんやお寿司、うどん、からあげ、茶碗蒸し、デザートなどバラエティーに富んだメニューを注文している利用者さんもいました。最後に、アムールの利用者さんです。一般就労や普段から一人で行動している方も多く、「これおいしいよ頼む？」などと声を掛けながら落ち着いた雰囲気での食事でした。3つのグループ共通して「楽しかった、おいしかった」と笑顔で話されており、「次回は肉？いつ行けるかな」と次を楽しみにされているようでした。(グループホームつばき)

